

CASIO

P

3230/3232*JA

取扱説明書

保証書付

3230/3232

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
・本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- ・バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕を持たせてご使用ください。
- ・「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- ・万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくともサビ易くなります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

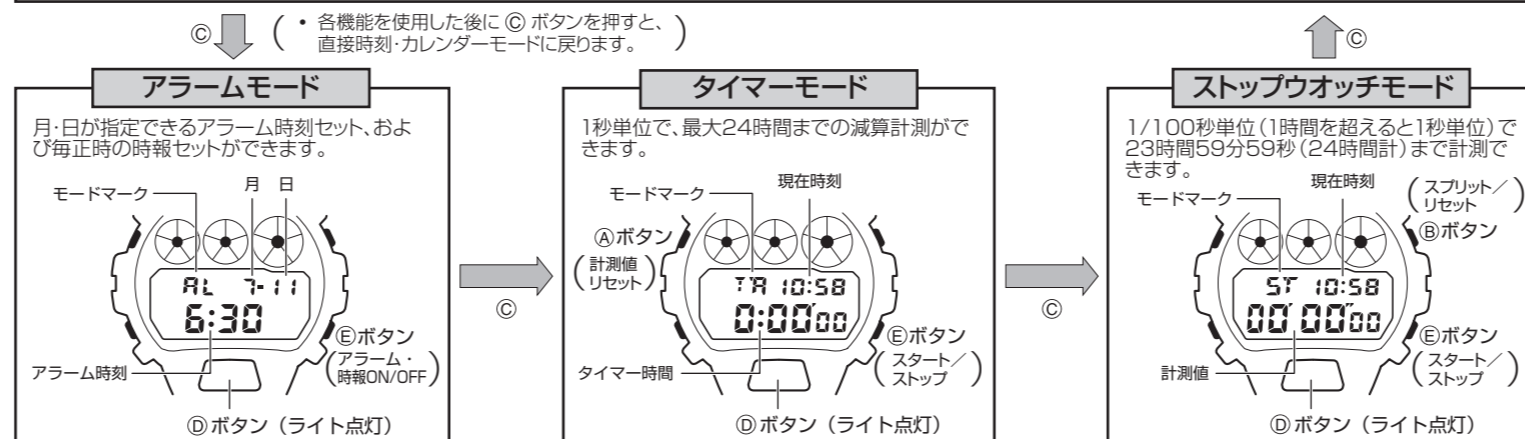
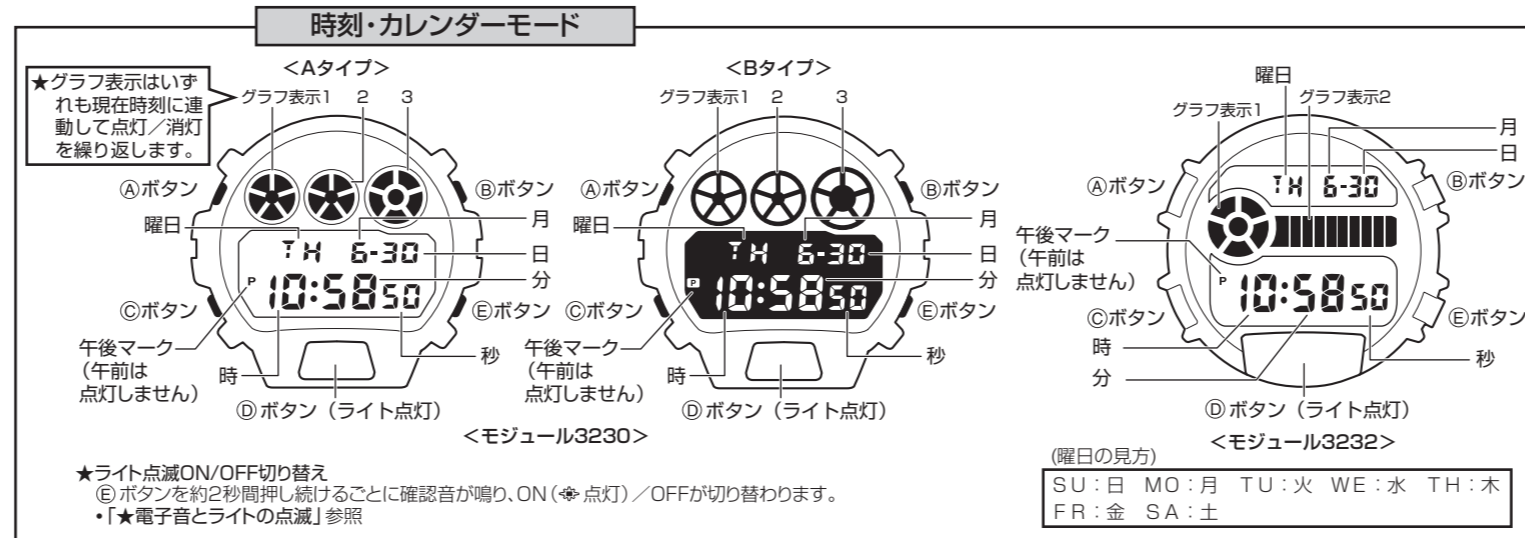
分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すことに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

本書の表示例はモジュール3230を使用しています(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)。



表示照明用ELバックライトについて

どのモードのときでも、◎ボタンを1回押すと文字板が約2秒間発光します。

- ・発光しているときにもう一度◎ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。
- ・ライトOFF(※消灯)でも◎ボタンを押すと発光します。

- ★電子音とライトの点滅**
- ライトON(※点灯)のときは、電子音のタイミングに合わせてライトが点滅します。
- ・電子音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

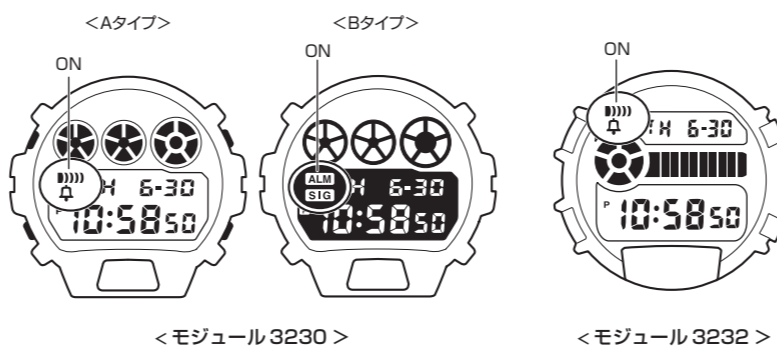
<ライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分(「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケータやマーク」など)が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

- ・液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方

30秒以内の遅れ/進みの修正

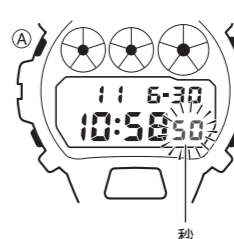
月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

◎ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

(時刻・カレンダーモード)



(2) 時報に合わせて◎ボタンを押します

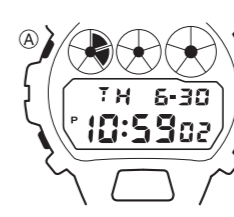
秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって、「00」秒になります。

- ・時報は「時報サービス117番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

◎ボタンを押して、点滅を止めます



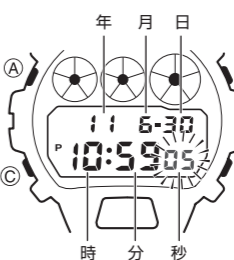
- ・秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
- ・カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。電池交換時以外は修正不要です。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

◎ボタンを押します

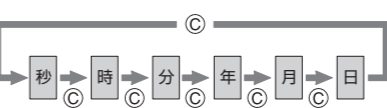
→「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

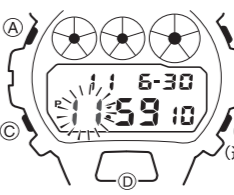
◎ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。
・押し続けると早く進みます。



★12/24時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、◎ボタンを押すことに12時間制表示(午前/午後「P」)と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

上記(2)~(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせてください。

- ・「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
- ・「年」は2000~2099年までセットできます。
- ・なお、「年」、「月」、「日」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、

◎ボタンを押して、点滅を止めます

アラーム・時報の使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

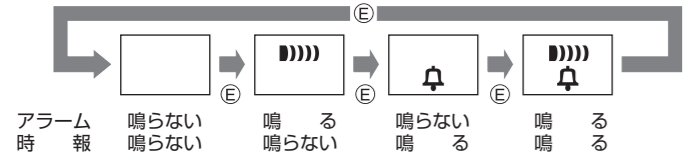
ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに以下の順でアラームON / OFFおよび時報ON / OFFが切り替わります。

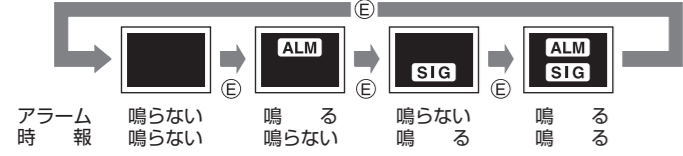
・なお、アラーム時刻をセットすると“”または、“”が点灯し、自動的にアラームONとなります。
(「**アラーム時刻のセット**」参照)



<Aタイプ>



<Bタイプ>



アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき
毎正時(00分)になると、“ビッピ”と電子音が鳴ります。

・このとき、いずれの場合でも、ライト点滅ON(点灯)にしておくと、電子音に合わせてライトが点滅します。



鳴っている電子音を止めるには

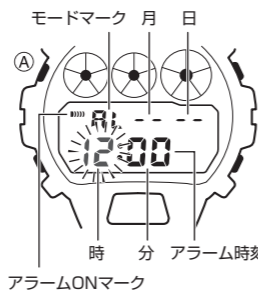
アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ****ⓑ****ⓒ****ⓓ****ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

ⓐ ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。
・このとき“”または、“”が点灯し、アラームONとなります。



(2) セット箇所を選ぶ

ⓑ ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

ⓓ ボタンを押します

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。
・押し続けると早く進みます。

(4) セット後、点滅を止めるには、

ⓐ ボタンを押します

・セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

●「時」のセットのとき、午前/午後「P」にご注意ください。

●時刻を24時間制「24H」にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

●「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき → 「時・分」のみセット
1ヵ月間毎日鳴らしたいとき → 「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき → 「日・時・分」のみセット
指定日に鳴らしたいとき → 「月・日・時・分」すべてセット

(4) セット後、点滅を止めるには、

ⓐ ボタンを押します

・セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で減算計測をします。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

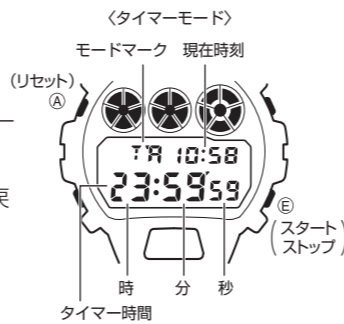
タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

ⓐ ボタンを押します

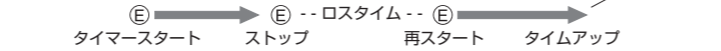
→ **ⓐ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

★ **ⓐ** ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



★ロスタイムがあるときは

減算計測中、**ⓓ** ボタンでストップ後、もう一度 **ⓓ** ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

*オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

・このとき、ライト点滅ON(点灯)にしておくと、電子音に合わせてライトが点滅します。



タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

- リピートタイマー(繰り返し計測)
タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。
- オートリピートタイマー(自動繰り返し計測) <「AUTO」点灯>
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測をします。

★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに「AUTO」が点灯/消灯を繰り返します。

「AUTO」が消灯しているときはリピートタイマー、「AUTO」が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ****ⓑ****ⓒ****ⓓ****ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768 Hz
精度: 平均月差±15秒以内
基本機能: 月・日・曜日・時・分・秒、午前/午後(P) / 24時間制表示(24H)、フルオートカレンダー(2000~2099年)
ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒(00'00'00~59'59'99のとき) 1秒(1:00'00~23:59'59のとき)
計測範囲=23時間59分59秒(24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

タイマー機能: 計測単位=1秒 セット単位=1秒
タイプアップを10秒間の電子音で報知

アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=月・日・時・分 電子音=20秒間時報 毎正時に2回電子音で報時

タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒(0:00'01)」から「24時間(0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

ⓐ ボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

ⓑ ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

ⓓ ボタンを押します

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。
・押し続けると早く進みます。

★表示が点滅しているときに **ⓓ** ボタンを押すと、タイマー方法(リピートタイマー/オートリピートタイマー)が選べます。
(詳しくは左記「**タイマー方法を選ぶ**」参照)

(4) セット後、点滅を止めるには

ⓐ ボタンを押します

・セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ご使用上の注意

防水性

●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用強化防水			
		日常生活用防水	5気圧防水 5BAR	10気圧防水 10BAR	20気圧防水 20BAR
洗濯・前	○	○	○	○	
水仕事、水泳	×	○	○	○	
ウインドサーフィン	×	×	×	○	
スキンスライディング(素潜)	×	×	○	○	

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防水構造になっておりませんが、多量の汗を発する場合、もしくは湿度の高い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうすやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用はお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なバネ交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側に曇りが発生することがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にせず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでお避けください。
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や粉失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
●バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

ショック

●通常の使用状態でショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-Gms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

磁気

●通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります。

薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品の色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときは十分に水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま放置すると変色する場合があります。
- 塗装部分は、使用状況(湿度の外気、連続したこすり、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときは十分に水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品の色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときは十分に水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると変色する場合があります。
- ご注意:天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

金属製品について

- 金属を使用した製品/バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸水性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい繊維ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にからかれないようご注意ください。

抗菌防臭バンドについて

●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸水性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面に三枚の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることが出来ます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸水性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

お手入れを怠ると

<さび(錆)>

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - ・汚れにより酸素がたれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

<劣化>

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

<かぶれ>

●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います(防水検査は別途有償となります)。

最初の電池

●お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
●お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなった」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていることと故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いのため、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。